

Newsletter

2025
September第4回 日本アカデミック・ディテリング研究会
学術大会 in 千葉 基礎と実践の融合～臨床の成果～

日時 2025年9月14日（日）10:00～16:30
場所 きらり鎌ヶ谷市民会館 きらりホール
＋Webハイブリッド開催
大会長 出雲 貴文
実行委員長 長澤 宏之
参加者 現地 76名 オンライン 49名

プログラム

大会長講演「基礎と実践の融合～臨床の成果へ～」
出雲 貴文
代表理事講演「Patient Care-Ordersとは」
小茂田 昌代
教育講演「米国の薬学教育とエビデンスに
関する教育について」
武田 三樹子

シンポジウム1 「National Resource Center for Academic
Detailing [NaRCAD]報告」
シンポジウム2 新薬導入時のADの活用
「Elranatamabの症例を交えて」
シンポジウム3 「アカデミック・ディテリングの実践」
特別講演 骨粗鬆症治療薬の最新線
～骨吸収抑制薬と骨形成促進薬の位置づけ～
川口 浩

教育講演

ニューメキシコ大学の
武田三樹子先生が、次
世代薬剤師教育と処方
権を持つ Pharmacist
Clinicianの役割を紹介。



特別講演

今年度AD研修会で取り組んでい
る骨粗鬆症の治療薬について、
整形外科医の川口先生の講演。
ロモソズマブの心血管有害事象、
骨折や脊椎固定に対しての適応
外処方の正当性や2025年のガイ
ドラインへの最新の知見を頂き
ました。



シンポジウム

1 NaRCAD報告



2024年11月に米国ボストンで開催
されたNaRCAD主催ADフォーラム
参加報告。木内先生より「AD訪問を
成功させるための必須要素」、
小茂田先生から、「AD創始者 Avorn
博士の講演」の報告。

2 新薬導入時のADの活用



千葉西総合病院（河本先生・
香取先生）における新薬導入、
エルレフィオ皮下注を例にADの
活用事例の報告。

3 アカデミック・

ディテリングの実践

在宅薬剤師の事例をフォーライフ薬局
小林先生、大学病院の事例を岡山大学
田中先生、地域病院の事例を総合相模
更生病院佐々木先生から報告。



AD資材の活用について吉野先生から、
マネジメントの視点について山根先生
から報告。総合討論においては、AD
有用性のエビデンス創出に向けての熱
い議論が交わされた。

2026年学術大会のお知らせ

2026年9月13日（日）東京理科大学葛飾キャンパスにて開催予定